

関係ネットワークサービス (RNS) を利用した キャンパスネットワークシステム

相笠直子† 山口治男†

東京工科大学大学院バイオ・情報メディア研究科メディアサイエンス専攻†

1 はじめに

Web を利用したコミュニケーション形態として、情報発信者と情報受信者の間にある関係に着目し、この関係をキーとして両者のコミュニケーションを仲介する「関係ネットワークサービス (RNS: Relation Networking Service)」を提案する。RNS における「関係」としてイベントがある。この場合、RNS は情報発信者と受信者の間で登録されたイベントに関する情報を仲介する。

大学キャンパスでのコミュニケーションは、授業やサークル活動などのイベントが学生と教職員の間の関係として存在する。これらのイベントをキーとしてコミュニケーションの円滑化を図ることができる。

本稿では、RNS の応用事例として大学キャンパスコミュニケーションに適用した実験システムについて報告する。

2 コミュニケーションの考察

Web サービスにおけるコミュニケーション形態として情報発信者と情報受信者の間にある関係に着目して、これらを仲介することによってコミュニケーションを行う関係ネットワークサービス (Relation Networking Service) を考えた。以後、関係ネットワークサービスを RNS と呼ぶこととする。

RNS において着目する関係の代表的なものとしてイベントがある。このイベントに関する情報が RNS によって伝達されることとなる。関心のあるイベントの情報を知らせることで個人にチューニングされた形態で情報が配信される。

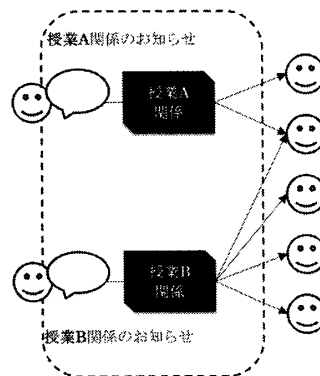


図 1 大学における RNS

大学における RNS のイメージを図 1 に示す。大学キャンパスで RNS を適用するときのリレーションは、授業が最適である。他にはゼミやサークル、研究室などがある。これらを一連のリレーションとすることで、学生と教職員らとの関係性のほとんどの場合を網羅できる。

大学におけるコミュニケーションは、学生にとってプル型のコミュニケーションで行われることがほとんどである。情報の掲示や提示をして学生に通知する方法が一般的であり、教員から学生への一方通行な情報伝達でのコミュニケーションが主体となっている。大学からの大学関連情報も掲示板や Web ページを通じた情報伝達によって行われており、学生への情報伝達方法は基本的に一方通行となっている。プル型であるがために、プル型特有のコミュニケーションの問題が顕著となる。

プル型のコミュニケーションの特徴は一方通行な情報伝達である。受信側は、伝えるべき情報の存在がわからないので、その存在があるかどうか確かめなければならない。休講があるかどうかということを知るためには、休講情報を確かめなければわからないということとなる。次に、見つけなければ伝わらないという問題点も挙げられる。休講情報が掲載

Using Relation Networking Service Campus Network System

† Naoko Aigasa, Haruo Yamaguchi

Graduate School of Bionics, Computer and Media Sciences,
Tokyo University of Technology

されている情報源から、自分に関係する休講情報があるかどうか探さなければならない。

3 RNS ビューアの実現

複数の情報発信者がイベントに関する情報を発信し、複数の受信者が自分に関するイベントに関する情報を受信する RNS において、情報受信ユーザが関係のあるイベントに関する情報のみを一括して受信して表示するユーザインターフェースの実現形態を RNS ビューアと呼ぶこととする。

本研究では、RNS ビューアの実現形態として学生や教員にとって慣れている授業スケジュールに従った時間割形式のインターフェースを採用することとした。大学キャンパスでは授業時間帯でスケジュールが立てられることがほとんどであるが、時間割に組み込むことができないイベントに関しては時間割とは別の表示領域を用意することで、時間割の時間帯に関係しないイベントに関しても一目でわかるように表示できる。

実験システムで最初に自分の時間割が表示されるページをマイページと呼ぶこととする。マイページでは自分が設定した時間割と同時に時間割に関する情報が掲載される。学生は本サービスを利用することでスケジュール管理とこれらのスケジュールに関連する情報取得を行うことができる。

4 実験システムの構築

本研究のマイページで提供される RNS ビューアの実現インターフェースを図 2 に示す。

時間割には自分が選択した授業が表示されるが、授業の開講スケジュールはシステム側で提供される。この時、大学の休講日などの時間割には授業が表示されないように設定される。

時間割に表示されている授業に関するお知らせがある場合、時間割上にお知らせを示すアイコンとお知らせについての見出しが通知される。これらのアイコンは表示している時間割の日程が掲載期間中である期間だけ表示される。

お知らせの詳細については、授業名のテキストリンクをクリックするとその授業の詳細情報が別ページで表示される。

本システムへのアクセス頻度を増加させる方法として、この授業詳細ページから授業の教材などをダウンロードする URL との関連付けを行った。これによりユーザが本システムにアクセスする動機が増え

ることとなる。

	10/10 月	10/11 火	10/12 水	10/13 木	10/14 金
1	ネットワーキング講座 ★<休講>	基礎演習		プログラミング技術	ゼミ <教員変更>
2		基礎演習	オンラインゼミ <休講>	プログラミング技術	
3					
4					
5					

図 2 マイページ的设计図

授業詳細ページを介して、授業情報の共有を行った。授業教材をダウンロードする URL や授業に関連するブックマークやメモなどの情報をユーザが設定し、それらの情報を共有することができる。

5 まとめ

本実験システムでは、授業情報の共有をすることで RNS ビューアに授業情報を共有できるハブ機能を持たせることができた。これにより、RNS を適用したマイページシステムによって授業イベントを仲介する円滑なコミュニケーションを実現することができた。

本稿の執筆時点では、その効果を測定するための最終の検証実験を準備中であり、学生の実験システムへのアンケート評価により分析を行う予定である。大学における RNS ビューアの有用性はハブとして機能することで高まると考えられる。今後さらに本システムの有用性を高めるためには、ユーザによるアクセシビリティと当システムの便利さの評価を行い、これに基づく改善を重ねていくことが必要である。

参考文献

- [1] 相笠直子, 山口治男, 第 4 回情報システム学会全国大会 B1-1 “マイページシステムによる情報通知方法の改善結果の報告”, 第 71 回情報処理学会全国大会 6ZA-6, 2009. 03
- [2] Lookout Software, “RSSCalendar”, <http://www.rsscalendar.com/>, 2004 - 2009